

# 令和2年度 事業報告

## 1 事業概要

法人経営においては、「ガバナンスの強化」、「透明性の確保」、「財務規律の強化」を基本として、また、第2次中期経営計画の最終年度として事業を推進しました。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、老福施設においては、エンルムハイツとあいらんにおいて、それぞれ職員1人が感染しましたが、適切な初期対応により他の職員や入居者への感染はなく終息しました。これに伴い、デイサービスやショートステイの一時休止のほか訪問介護等において利用の抑制があり稼働率はやや低下しましたが、老福全体の経営としては想定以上の実績になりました。

保育所においては、登所を自粛する児童もいましたが、それよりも、感染症による共働き家庭への就労状況の悪化が原因と考えられ、入所児童数の伸びが見られず、かつ、出生数も減少しており、今後も含めて入所児童は減少傾向にあることが鮮明になり厳しい保育所経営を強いられたところです。

事業の見直しでは、3箇所の居宅介護支援事業所のうち、白鳥ハイツは年度当初の4月から、かがやきは1月から、いずれもエンルムハイツ1箇所に整理統合しましたので、今後一層の効率化、収支改善を目指します。

更に3年度からは、エンルムハイツショートステイ定員10人を8人に減員し稼働率向上を図るとともに、特養従来定員46人を48人に増員して収支改善を図るよう見直しました。

これらの結果、施設整備の積立としては、老福施設では9,200万円、保育所では入所児童数の減少による収入減が大きく300万円、合計9,500万円を積み立てることができました。

また、以上の成果については、第2次中期経営計画(3箇年)の最終年としての成果でもあり、計画全体の実績としては7割程度の実施率であり、次期計画に継続検討とした事業もありますが概ね達成しました。

3年度からの第3次計画(3箇年)も策定しましたので、改めて着実に推進し安定した経営に努めます。

なお、2年度はコロナ感染症対応に終始した1年であり、職員は心身ともに疲労が重なり疲弊しつつありますので、全職員の慰労のため特別奨励金や慰労品を支給しました。

## (1) 特別養護老人ホーム（白鳥ハイツ、エンルムハイツ従来型・ユニット型）

令和2年11月に、エンルムハイツユニット職員1人がコロナ感染症の陽性となりましたが、感染拡大には至らず施設運営への大きな影響はありませんでした。

入所者に対しては、コロナ禍においては行事や面会を制限せざるを得ない状況でしたが、規模を縮小した季節行事など楽しいひと時を提供できました。

家族との面会については、感染症予防対策を第一として衝立を設置した面会やオンラインを活用するなど、入所者と家族の意思疎通が図られるよう配慮しました。

一方、介護職の人材確保が困難な状態は継続しており、一人ひとりの業務負担が過大にならぬよう勤務体制や業務内容の見直しを図ることで働きやすい職場づくりを目指し、サービスの質が低下することがないよう努力しました。

職員研修につきましては、入所者の重度化や認知症も進んでいる傾向にあり、例年参加している外部機関主催の集合研修の多くはコロナ禍にあり中止となりましたが、オンラインでの研修を受講することで、感染症対策の最新知見の獲得や職員のスキルアップを図りました。

経営的には、特養施設としてはコロナ禍にあってもベッド稼働率は安定的に推移し、財務状況も良好な状態を維持することが出来ました。

なお、全国的に発生している新型コロナウイルス感染症については、対策本部による対応方針や感染症防止マニュアル等により、引き続き万全な体制で入所者の安全確保に努めて参ります。

3年度から、エンルムハイツ従来型の定員を見直し2人増の48人とします。

※令和2年度 1日平均入所者数・平均稼働率（前年）

白鳥ハイツ	(定員 100 人)	95.6 人 95.6%	(95.5 人、95.5%)
エンルムハイツ従来型	(定員 46 人)	44.4 人 96.4%	(44.4 人、96.4%)
〃	ユニット型 (定員 54 人)	52.4 人 97.1%	(52.2 人、96.7%)

## (2) 養護老人ホーム（あいらん）・特定施設入居者生活介護事業所

令和2年9月1日で移転改築後10年を迎えることができました。この節目に当たり大々的な行事を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、各ユニットにおいてご利用者の方に行事や食事を楽しんでいただきました。

経営的には、年間通して定員割れが続く厳しい状況でしたが、特定施設部門での定員割れにならないように努めたことにより収支は安定しました。

新型コロナウイルスの影響で集団での行事などが中止となり、また、外出が出来ず面会も一部制限するなど自由にできない状況ですが、安全対策を基本に今後も引き続き入所者の感染防止に努めて参ります。

※令和2年度 1日平均入所者数・平均稼働率（前年）

養護老人ホーム（定員80人）	77.9人 97.4%（80.0人、100%）
うち特定施設（定員30人）	29.8人 99.4%（28.8人、96.1%）
あいさぽ事業（地域貢献事業）	中止（7回、42人）

### （3）デイサービスセンター（白鳥ハイツ、エンルムハイツ、かがやき）

利用者が住み慣れた地域や自宅で暮らしていけるようケアプランに沿ったサービスを提供するとともに、生活環境に配慮した自立支援に取り組み、個別の機能訓練による要介護度の重度化防止を目指しました。

また、各事業所が地域福祉の拠点として関係機関と協働し地域包括ケアシステムの推進や情報発信に努め、中でもかがやきで実施している認知症カフェは感染症等により年間12回（月1回）開催が5回開催（7回中止）になりましたが、交流機会の提供等にも努め、利用者家族の介護負担軽減（レスパイトケア）を推進しました。

各施設においては、感染症に罹患しないよう利用時における感染防止対策の徹底や正確な情報の発信について周知徹底しましたが、エンルムハイツユニット型で職員の感染者が生じた際は、同じ敷地内でありますので感染予防のためデイサービスを2週間休止しました。

かがやきは、平成31年4月より市から移管され当法人の所管事業になり2年経過しましたが、認知症対応型のデイサービスについては、現在市内ではかがやき一箇所で実施しておりますが、利用者が減少傾向にあることからその在り方については今後の検討課題としております。

※令和2年度 1日平均利用者数・平均稼働率（前年）

白鳥ハイツ（通常定員35人）	26.8人 76.3%（27.0人、77.1%）
エンルムハイツ（通常定員31人）	24.1人 77.7%（24.0人、77.4%）
かがやき（通常定員25人）	22.8人 91.2%（23.8人、95.2%）
〃（認知定員12人）	6.4人 53.3%（7.6人、63.3%）
〃 カフェ（認知症）	5回 38人（21回、80人）コロナで開催減

○総合事業（介護予防・日常生活支援）— 基本チェックリスト該当者を含む。

### （4）訪問介護事業（エンルムハイツ）

利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した生活を営むことができるように身体介護や生活支援サービスを提供しましたが、身体介護サービスより生活支援サービスを提供する割合が高く、新たな加算等も算定しましたが、経営状態が改善するほどの収益はありませんでした。（身体介護より生活支援の方が介護

報酬は低く設定されている)

コロナ禍により利用控え等もあり、経営状況が厳しい状況は数年続いており、また、人材確保の面でも担い手不足であり、訪問サービス事業の継続について、検討の必要性があります。

※令和2年度 利用回数（予防含む）（前年）

訪問回数	329回/月、実人員43.9人/月	(343回/月、実人員44.3人/月)
------	-------------------	---------------------

○総合事業（介護予防・日常生活支援）— 基本チェックリスト該当者を含む。

### (5) 居宅介護支援事業（エンルムハイツ、かがやき）

3年度からの特定事業所管理者の主任ケアマネージャー配置義務化（経過措置あり）の対応と事業の効率化、収支改善を図るため、2年4月より白鳥ハイツ事業所をエンルムハイツ事業所に統合し、かがやき事業所についても3年1月より統合することにより、地域包括支援センター、医療機関等の各機関との連携、情報共有により困難事例の対応など、特定事業所としての機能や役割を果たすことができました。

また、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、各サービス提供機関と連携し、利用者が住み慣れた環境で継続して生活ができるよう支援しました。

※令和2年度 プラン作成件数/月（前年）

エンルムハイツ（1月からかがやき統合）	252.4件/月	(257.8件/月)
ケアマネ1人当たり平均件数（7人）	36.1件/月	(36.8件/月)

年度途中でエンルム1箇所へ統合したため、統合後の総数で整理

### (6) 地域包括支援センター（白鳥ハイツ～室蘭市からの受託事業）

地域包括支援センターは、地域包括ケアを支える中核機関として市内に4箇所設置されており、白鳥ハイツは祝津・白鳥台・本輪西地区を担当し、65歳以上の方の相談対応を行いました。

コロナ禍の影響も考えられますが、相談件数としては前年度よりも減少しました。一方では、相談内容は多岐に渡り、多職種との連携や地域ケア会議の開催が困難な現状の中で、解決までに多くの時間を要する事例が増加しております。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、閉じこもり防止を目的としたサロンや認知症カフェの開催がほとんど中止となりました。今後は、感染症と共存した中での新たな介護予防活動の展開を図って参ります。介護予防プランの作成件数は増加しております。

※令和2年度 予防プラン作成件数/月 相談件数/月 (前年)

作成件数	398件	(381件)
相談件数	133件	(149件)

### (7) 短期入所生活介護事業 (ショートステイ ～ 白鳥ハイツ、エンルムハイツ)

介護家族の負担軽減など、利用者や家族のニーズを踏まえて、在宅生活を継続できるようにサービスを提供いたしました。

ユニット型のエンルムハイツで感染者が生じたことから、ショートステイも2週間の新規受け入れの中止や利用控え等もあったことから利用率はやや低下しましたが、緊急の利用や虐待案件、介護保険限度内での中長期の利用も受け入れ、利用者のニーズにも迅速に対応しました。

なお、エンルムハイツの定員について、過去の稼働率を考慮して、3年度から2名減の8名とし、減じた分を特養定員増(46名から48名に)に変更しました。

※令和2年度 1日平均 利用状況 (前年)

白鳥ハイツ (定員6人)	4.8人	80.0%	(4.8人、80.0%)
エンルムハイツ (定員10人)	6.6人	65.6%	(7.5人、74.9%)

### (8) 保育所 (双葉・楽山・みどり・白鳥・東町・常盤の6保育所、らんらん)

歳児別保育を基本とした指導計画に基づき、子ども一人ひとりの成長に配慮し、健康で情緒の安定が図られる保育を実施しました。入所児童数はほぼ前年並みでしたが、双葉保育所については利用定員60人のところ移転改築により20人増の80人にしたことにより、稼働率は前年を下回り97.2%になりました。出生数の減少傾向やコロナ禍による就業の悪化が原因と考えられますが、これらの原因が一時的なものなのか継続するものなのか、今後、十分検証しなければなりません。

特別保育は、全保育所において「延長保育」、「障害児保育」の実施、双葉保育所、東町保育所及び常盤保育所において「病児保育」、その他「一時預かり」、「年始保育」など多様な保育を実施するほか、全保育所での完全給食(全児童に主食を提供)を継続して実施し食育の推進に努めました。

子育て支援センターらんらんは、親子のふれあいの場の提供とともに年間を通して様々な子育て相談を行う予定でありましたが、コロナ禍で事業の中止や開催自粛もあり、ルーム参加者やルーム使用時の相談件数は減少しました。

しかしながら、相談件数の内訳として、コロナには影響のない電話での相談につ

いては、前年比で約5割増の84件に増加しており、コロナ禍で他の子育て経験者と触れ合う機会が激減した母親達の助言を求める場としての存在であることを改めて実感しました。

今後は、コロナ感染予防のため、外出の自粛が続くものと思われませんが、感染対策を万全にして安心安全な施設の維持に努めるとともに、電話やメール等での相談にも積極的に取り組みます。

※令和2年度 保育所入所状況（6保育所合計）（前年～定員540人）

利用定員 560人	545人	97.2%	(549人 101.6%)
-----------	------	-------	---------------

※令和2年度 らんらん利用状況（前年）

ルーム参加者	4,389人 (4,702人)
サークル訪問支援	0件 (15件)
相談件数	480件 (571件)
親子講座	140人 (152人)
ほかほかルーム	85人 (123人)

## 2. 評議員会開催状況

### 第1回（書面による同意）

- 1) 提案日 令和2年6月5日（金）
- 2) 回答期日 令和2年6月19日（金）
- 3) 案件 報告1件、認定1件、議案2件
- 4) てん末 報告第1号「令和元年度事業報告」を書面により報告した。  
認定第1号「令和元年度決算報告」を書面により報告した。  
議案第1号「基本財産処分の件」及び議案第2号「定款変更の件」を書面により提案した。書面審査の結果、すべて原案のとおり同意を得た。

## 3. 理事会開催状況

### 第1回

- 1) 日時 令和2年6月4日（木） 午後1時30分
- 2) 場所 本部会議室
- 3) 案件 報告4件、認定1件、議案5件
- 4) てん末 報告第1号「令和元年度双葉保育所拠点会計資金収支補正予算（第5号）」を報告した。  
報告第2号「中期経営計画進捗状況の件」を報告した。  
報告第3号「令和元年度事業報告」を報告した。  
認定第1号「令和元年度法人決算」を審議し、認定された。また、報告第4号「令和元年度監査報告」を報告した。  
議案第1号「令和2年度定時評議員会提案事項の議決省略の件」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第2号「基本財産処分の件（旧双葉保育所解体）」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第3号「特別奨励金支給の件」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第4号「臨時的任用職員就業規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第5号「定款変更の件」を審議し、原案のとおり可決された。

### 第2回

- 1) 日時 令和2年7月28日（火） 午後1時30分
- 2) 場所 本部会議室
- 3) 案件 報告1件、議案4件

- 4) てん末 報告第1号「理事長及び常務理事職務執行状況（4月～7月）」を報告した。  
議案第1号「令和2年度白鳥ハイツ拠点会計資金収支補正予算（第2号）」並びに議案第2号「令和2年度エンルムハイツ拠点会計資金収支補正予算（第2号）」を一括審議し、原案のとおり可決された。  
議案第3号「令和2年度双葉保育所拠点会計資金収支補正予算（第1号）」を審議し、原案のとおり可決された  
議案第4号「職員給与規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された

### 第3回

- 1) 日 時 令和2年8月24日（月） 午後1時30分  
2) 場 所 本部会議室  
3) 案 件 報告1件、議案3件  
4) てん末 報告第1号「業務監査結果報告（第1四半期）」を報告した。  
議案第1号「常盤保育所ベランダ改修工事の件」並びに議案第2号「令和2年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算（第1号）」を一括審議し、原案のとおり可決された。  
議案第3号「令和2年度あいらん拠点会計資金収支補正予算（第1号）」を審議し、原案のとおり可決された

### 第4回

- 1) 日 時 令和2年11月9日（月） 午後1時30分  
2) 場 所 室ガス文化センター2階中会議室  
3) 案 件 報告5件、議案13件  
4) てん末 報告第1号「理事長及び常務理事職務執行状況（8月～10月）」を報告した。  
報告第2号「入札結果報告（常盤保育所ベランダ改修工事）」を報告した。  
報告第3号「施設長等任命の件」を報告した。  
報告第4号「職員の懲戒処分等の件」を報告した。  
議案第1号「令和2年度白鳥ハイツ拠点会計資金収支補正予算（第3号）」から議案第4号「令和2年度かがやき拠点会計資金収支補正予算（第1号）」までを一括審議し、原案のとおり可決された。  
議案第5号「令和2年度双葉保育所拠点会計資金収支補正予算（第2号）」から議案第10号「令和2年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算（第2号）」までを一括審議し、原案のとおり



可決された。

議案第11号「令和2年度法人本部拠点会計資金収支補正予算(第1号)」を審議し、原案のとおり可決された。

議案第12号「苦情・相談第三者委員会規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。

議案第13号「苦情・相談第三者委員会委員選任の件」を審議し、選任した。

報告第5号「令和2年度法人会計決算見込みの件」を報告した。

## 第5回

- |        |  |
|--------|--|
| 1) 日 時 | 令和2年12月14日(月) 午後1時30分  |
| 2) 場 所 | 室ガス文化センター2階中会議室  |
| 3) 案 件 | 報告1件、議案1件  |
| 4) てん末 | 報告第1号「業務監査結果報告(第2四半期)」を報告した。<br>議案第1号「老人福祉施設厨房業務委託の件(白鳥ハイツ及びエンルムハイツ)」を審議し、原案のとおり可決された。 |

## 第6回

- |        |  |
|--------|--|
| 1) 日 時 | 令和3年1月28日(木) 午後1時30分   |
| 2) 場 所 | 室ガス文化センター2階中会議室  |
| 3) 案 件 | 報告2件、議案13件   |
| 4) てん末 | 議案第1号「定款施行規則一部改正の件」並びに議案第2号「経理規則一部改正の件」を一括審議し、原案のとおり可決された。<br>議案第3号「職員給与規則一部改正の件」並びに議案第4号「臨時的任用職員就業規則一部改正の件」を一括審議し、原案のとおり可決された。<br>議案第5号「令和2年度エンルムハイツ拠点会計資金収支補正予算(第4号)」並びに議案第6号「令和2年度かがやき拠点会計資金収支補正予算(第2号)」を一括審議し、原案のとおり可決された。<br>議案第7号「令和2年度双葉保育所拠点会計資金収支補正予算(第3号)」から議案第12号「令和2年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算(第3号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。<br>議案第13号「令和2年度法人本部拠点会計資金収支補正予算(第2号)」を審議し、原案のとおり可決された。<br>報告第1号「第2次中期経営計画実績報告の件」を報告した。<br>報告第2号「令和2年度法人会計決算見込みの件」を報告した。 |

## 第7回

- 1) 日 時 令和3年2月26日(金) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告2件、議案10件
- 4) てん末 報告第1号「業務監査結果報告(第3四半期)」を報告した  
議案第1号「令和2年度白鳥ハイツ拠点会計資金収支補正予算(第4号)」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第2号「令和2年度エンルムハイツ拠点会計資金収支補正予算(第5号)」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第3号「令和2年度あいらん拠点会計資金収支補正予算(第3号)」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第4号「令和2年度双葉保育所拠点会計資金収支補正予算(第4号)」から議案第9号「令和2年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算(第4号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。  
議案第10号「令和2年度法人本部拠点会計資金収支補正予算(第3号)」を審議し、原案のとおり可決された。  
報告第2号「第3次中期経営計画(素案)の件」を報告した。

## 第8回

- 1) 日 時 令和3年3月22日(月) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告1件、議案20件
- 4) てん末 報告第1号「理事長及び常務理事職務執行状況(11月～3月)」を報告した。  
議案第1号「令和2年度白鳥ハイツ補正予算(第5号)」から議案第5号「令和2年度東町保育所補正予算(第4号)」までを日程ごとを一括審議し、原案のとおり可決された。  
議案第6号「令和3年度事業計画」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第7号「令和3年度白鳥ハイツ予算」から議案第17号「令和3年度法人本部予算」までを日程ごとを一括審議し、原案のとおり可決された。  
議案第18号「保育所管理規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第19号「評議員選任委員会委員選任の件」を審議し、原案のとおり選任した。  
議案第20号「第3次中期経営計画(案)の件」を審議し、原案のとおり可決された。